

うした訪れる人としてない静かな水辺
にこそふさわしい。(記・)

「タイム」 唐沢出合(二二:二〇) ↓
終了(一四:〇〇)

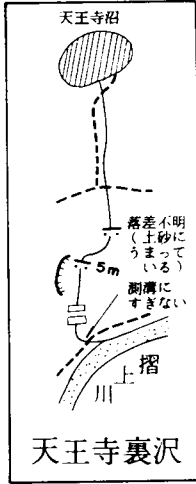
天王寺裏沢(仮称)

一九八三年九月一八日

天王寺沼から流れ出す小沢は、地
図上でははっきりと水線がひかれて
いるのだが、農業用水の取水や、人
工的な流路の付け替えにより、現在
ではその下半分は殆ど水の流れるこ
とはなくなっている。

一二時五五分、遊行開始。出だし
は道路の側溝にすぎない。そしてそ
の上は、砂防ダムと側面舗装が
進められていて、ほとんど人工
河川に変わろうとしている。

工事現場を過ぎて樹林帯に入
った所で滝が出てきた。五匹。



水がほとんど流れていないので、ど
真中を楽々と直登する。その上にも
滝があるが、崩れてきた岩石に埋っ
てしまっていて、落差の程はわから
ない。

上に出ると、農業用水の取水口で
ある。ここまで流れてきた水のほと
んど全てを右岸の水路に流しこんで

いる。左岸にももう一本人工水路が
あって、余分の水を下の人家と離れ
たところへ流し出すようになってい
る。

ここから天王寺沼までは細い流れ
が続くだけで、特にどうという所も
ない。右岸にはずっと踏跡もついて
いる。(記・)

「タイム」 出合(二二:五五) ↓天王
寺沼(二三:一〇)

